

事務所における環境保全の取り組み

2021年度環境保全

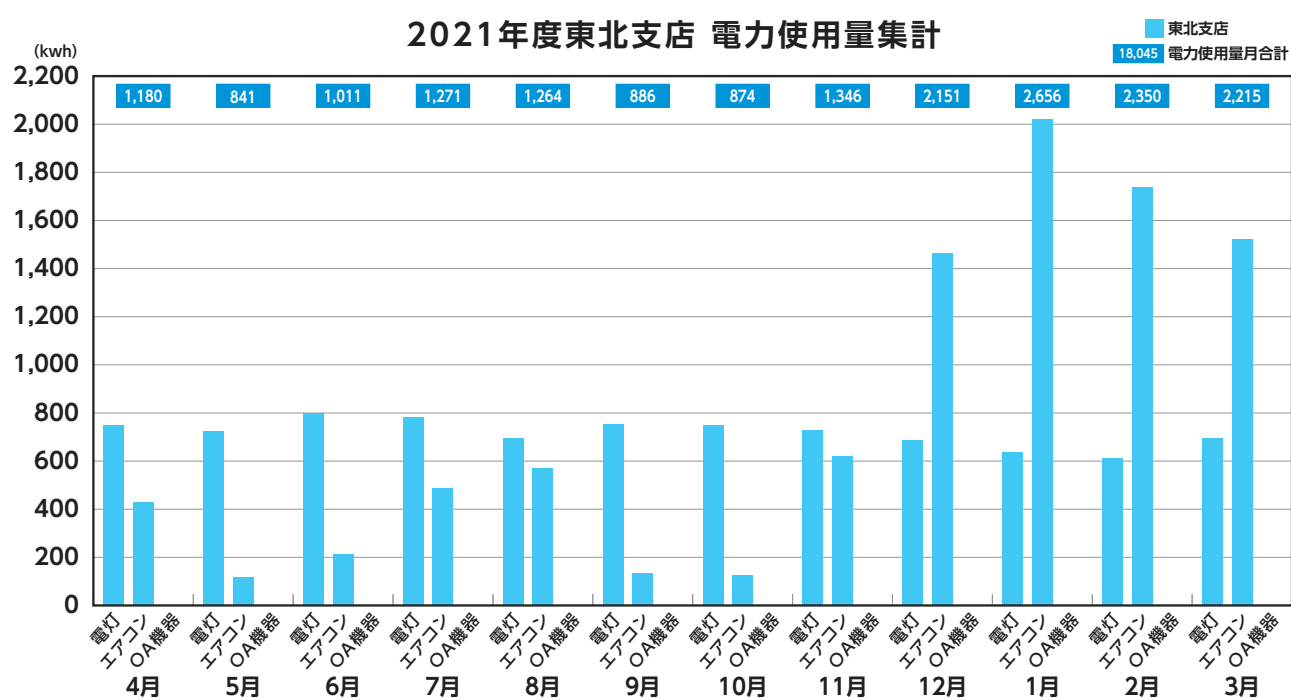
本社・支店・営業所は、各事務所管理会社の環境管理体制に応じた取り組みを行っています。

また、事務所の環境対応活動の事例を以下に紹介します。

● 東北支店での取り組み

東北支店では、応接室・会議室・書庫は利用時のみ点灯を原則としております。

また、ビル管理会社に依頼しエアコン電源の連動パターン変更を実施。執務室・受付・応接室全て連動の電源を受付・応接室と執務室に分割し、執務室以外のエアコンは利用時だけ運転しております。



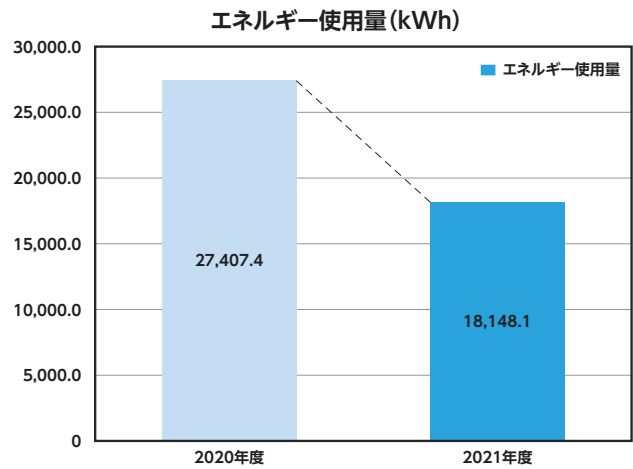
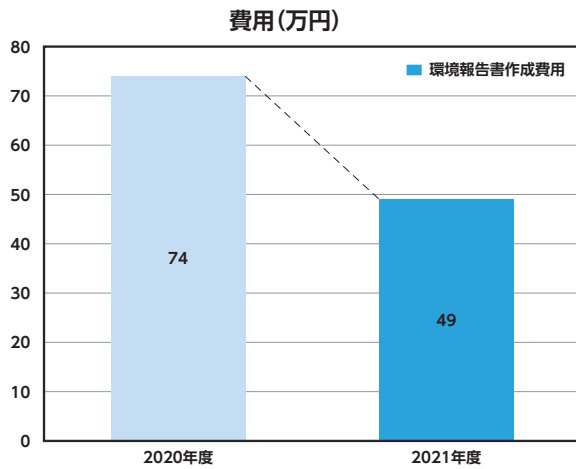
● 環境報告書の電子媒体化の事例

2019年3月より、社会の情勢の変化によりICTの積極的な活用による業務内容の見直しが必要となりました。環境報告書の電子媒体化の取り組みもその1つです。

2021年7月発行時から、紙媒体の冊子発行を廃止し、会社ホームページでの公開のみとしました。必要な場合にはホームページからダウンロードしていただくように運用を変更しました。

これらの変更により、2020年度は作成に伴い27,407.4kWh（原油換算6,906.7kl）のエネルギーを使用していましたが、2021年度のこれらのエネルギー使用量は18,148.1kWh（原油換算4,573.3 kl）となり、CO₂排出量は4.8 t-CO₂削減することができました。

さらに、年間約25万円の費用削減（前年対比約34 %削減）にもつながりました。



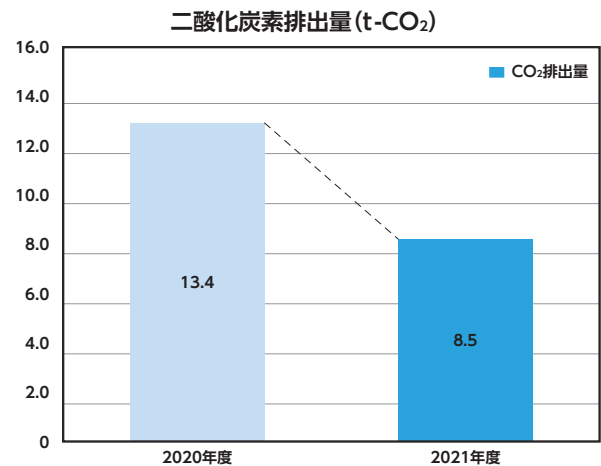
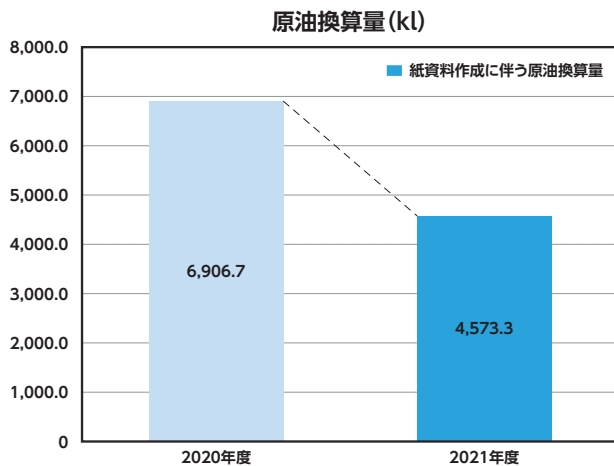
削減費用(万円)

	2020年度	2021年度	対前年比
環境報告書作成費用	74	49	-33.8%減
合計	74	49	-33.8%減

エネルギー使用量(Kwh)

(交通費 ÷ 金額換算係数) + (紙資料作成費 ÷ 金額換算係数)

	2020年度	2021年度	対前年比
エネルギー使用量	27,407.4	18,148.1	-33.8%減
合計	27,407.4	18,148.1	-33.8%減



原油換算量(kl)

エネルギー使用量 × 原油換算係数

	2020年度	2021年度	対前年比
原油換算量	6,906.7	4,573.3	-33.8%減
合計	6,906.7	4,573.3	-33.8%減

二酸化炭素排出量(t-CO₂)

エネルギー使用量 × CO₂ 排出係数

	2020年度	2021年度	対前年比
エネルギー使用量	13.4	8.5	-36.2%減
合計	13.4	8.5	-36.2%減

○省エネ効果

省エネ効果	2020年度	2021年度
エネルギー使用量(kWh)	27,407.4	18,148.1
原油換算(kl)	6,906.7	4,573.3
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	13.4	8.5
費用(万円)	74	49

※1 省エネ効果の算出根拠

資源エネルギー庁公表の家庭用省エネ性能カタログ
2020年版210ページ、2021年版192ページ

金額換算係数(電気) : 27円/kWh
原油換算係数(電気) : 0.252L/kWh
2020年度CO₂排出係数(電気) : 0.488kgCO₂/kWh
2021年度CO₂排出係数(電気) : 0.470kgCO₂/kWh

注) 情報通信技術(ICT : Information & Communications Technology)

● 本社地区一部オフィス閉鎖とセミフリーアドレス化による事業所のワークスペース縮小の事例

2019年3月より、社会の情勢の変化によりICTの積極的な活用による業務内容の見直しが必要となりました。リモートとオフィスを組み合わせた新たな働き方による業務生産性向上を見据えた取り組みもその1つです。

ここでは、末広町オフィスが2020年1月～2020年12月の1年間に事業活動を通して環境へ与えていた負荷を可能な範囲で見える化し、事業所のワークスペース縮小の効果としてご報告します。

末広町オフィスは2019年7月16日に開設し、2021年6月末をもってその役割を終えて閉鎖となりました。2021年7月からは、本社に末広町オフィスの機能を吸

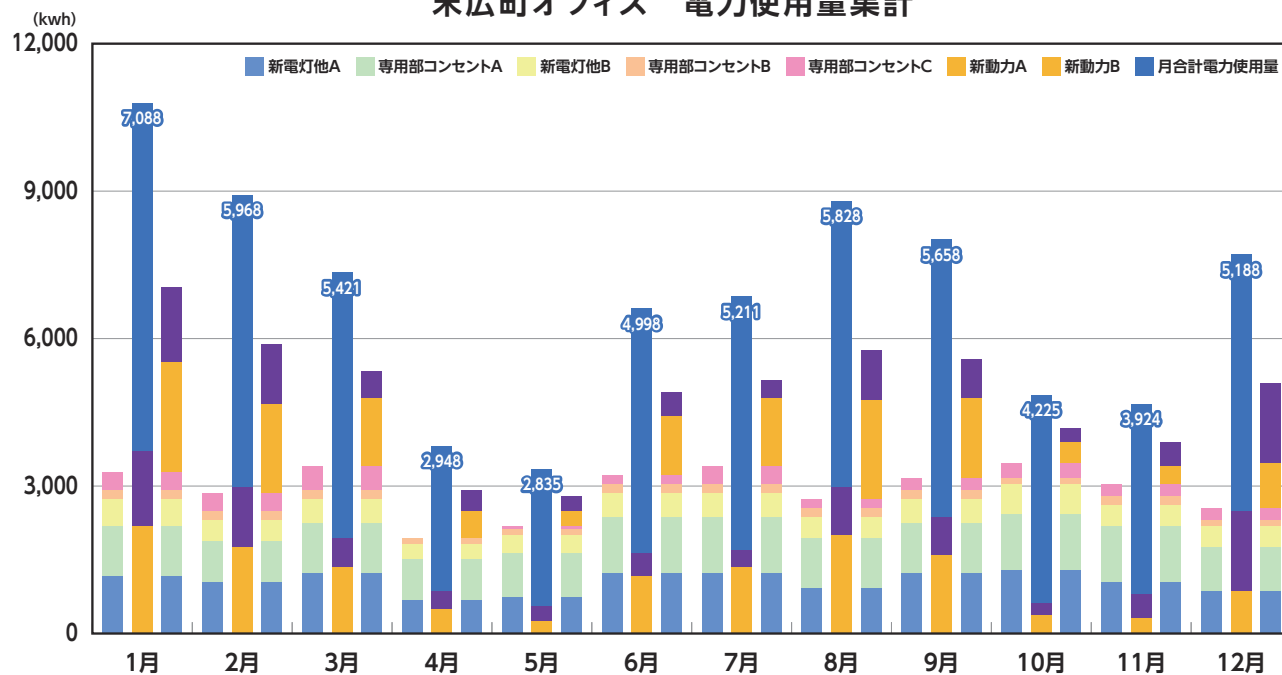
収し、本社ビルの「セミフリーアドレス」の運用を開始しました。

末広町オフィスの環境負荷としては、エネルギー使用量は、59,292 kWh/年(原油換算14,941.6 kl/年) CO₂排出量は29.2 t-CO₂/年を排出していた計算になります。水道使用量は404 m³/年でした。

また、事務所の賃借料4,272 万円/年の費用削減にもつながりました。

セミフリーアドレス化については、取り組み始めたばかりなので、これから効果が見えてくることを期待しています。

末広町オフィス 電力使用量集計



○省エネ効果

省エネ効果	2020年度※1
エネルギー使用量(kWh)	59,292
原油換算(kl)	14,941.6
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	29.2
水道使用量(m ³)	404
費用(万円)	4,272

省エネ効果の算出根拠

資源エネルギー庁公表の家庭用省エネ性能カタログ
2019年版182ページ、2020年版210ページ

金額換算係数(電気) : 27円/kWh

原油換算係数(電気) : 0.252L/kWh

2019年度CO₂排出係数(電気) : 0.500kgCO₂/kWh

2020年度CO₂排出係数(電気) : 0.488kgCO₂/kWh

※1 2020年1月～3月は2019年度CO₂ 排出係数(電気)で換算
2020年4月～12月は2020年度CO₂ 排出係数(電気)で換算

注) 情報通信技術 (ICT : Information & Communications Technology)

各事業所における環境目標と実績評価

(1) 工場の2021年度環境目標の達成状況

太田工場、新潟内燃機工場、ニコ精密機器株式会社では目標を達成しましたが、新潟鑄造工場では、削減はしたもののわずかに目標に届きませんでした。その他の工場では前年度対比で増加となりました。エネルギー原単位の対前年度比の寄与度は前年度対比増加となりましたが、工場全体の電気と燃料の消費量の原

油換算値は、前年度対比98%、CO₂排出量も前年度対比96%と改善しています。工場天井灯のLED化など、省エネの取り組みを進めており、エネルギー原単位の適正化の検討も継続しています。引き続きエネルギーを効率的に使用するための活動を推進してまいります。

(2) 事務所部門の2021年度環境目標の達成状況

北海道支店、名古屋支店、大阪支店で電気使用量がわずかに増加し、全体としては昨年と同等の使用量となり、目標未達となりました。2021年度は総エネルギー使用量の原油換算値は、前年度対比で101%、CO₂排出量は前年度対比101%と横ばいでした。新型コロナ感

染症の影響を受け制約がある中でも、お客様への営業活動などが活発に行われたためと考えています。

WEB会議の活用、室内温度の適正化など省エネの取り組みを進めています。引き続きエネルギーを効率的に使用するための活動を推進してまいります。